

グラビア	地域を支える人 横山由梨子さん・大阪府池田市	1
発掘！地域の希望のタネ	長野県飯山市 〈枅カッパ〉	5
給食のじかん	〈黒豆ごはん、トマトと小ねぎの和え物〉長野県宮田村 石川康恵	6
特集解題	岐路に立つ平和憲法	8
焦点	民泊条例の波紋—観光立国にふさわしい制度構築に向けて 廣岡裕一	10

特集

岐路に立つ平和憲法

インタビュー	岐路に立つ平和憲法 —立憲主義の破壊を食い止めるために	金子匡良	17
	緊急勅令の復活か?! 自民党・緊急事態条項への懸念	小口幸人	25
	沖縄から見た平和憲法のいま —政府の反憲法政策へのカウンター	高良鉄美	34
	「丸腰国家」コスタリカ共和国から考える、 平和のつくりかた	足立力也	41
	今日からはじめる、憲法の話 —若者が学び合う場をつくる	漆田義孝	48
書評	鎌田慧 『声なき人々の戦後史』	菅原敏夫	53
各県自治研活動レポート	まちづくりの未来探る—第一四回徳島県自治研集会を開催 —自治労徳島県本部	西岡健二郎	54
連載	まちゆうき！ 土佐自治研⑤ 原点を見据える「土佐自治研」に期待	楠本正躬	56
土佐自治研分科会紹介	特別分科会◎「ふるさと」を次の世代へ～「犠牲者ゼロ」の防災まちづくり～ 第8分科会◎市民とともに「憲法」と「平和」を考える 第9分科会◎子どもと地域社会～子どもの居場所をつくるのは誰？～ 第10分科会◎新地域支援事業とコミュニティの課題 第11分科会◎自治研で探る「街中八策」 第12分科会◎新しい公共のあり方「住民協働」理想と現実	柿内 靖 仲宗根哲 川村幸久 谷 英也 細谷悠一 小堀正雄	58
連載	『月刊自治研』を読む〈第三季〉◎ 八〇年代後半の誌面刷新	篠田 徹	65
	自治体の雑誌案内		71
	次号予告・編集部から		72

岐路に立つ平和憲法

改憲発議のルール変更に手をかけた九六条改正論議にはじまり、閣議決定による集団的自衛権の行使容認、安保関連法の制定と「ことごとく非立憲的ふるまいを重ねる安倍政権。自民党の憲法改正推進本部がまとめた「改憲四項目」をどう読み解くべきか？



インタビュー◎ 私たちは九条の何を守ろうとしているのか

戦後七〇年間、たしかに憲法の条文は変えられてこなかった。だが、条文さえ守り抜けば日本は何も変わらず平和なままなのだろうか。新「九条の二」がもたらすものとは何か。(本誌一七頁)

自民党緊急事態条項を読み解く

「異常かつ大規模」な災害時に、内閣に対し独立命令の制定権限を付与する新七三条の二。本条文は国家統治にどのような作用をもたらすのか。権力への歯止めという視点から検証する。(本誌二五頁)

沖縄から見た平和憲法のいま

主権者自らが声をあげて地方自治を守ることができれば、平和も人権も守ることはできない。辺野古新基地建設を前に、今なお「捨石」の役割を強いられんとする沖縄からの緊急提言。(本誌三四頁)



コスタリカの奇跡に今こそ学ぼう

「軍隊をすてた国」として、中米のコスタリカ共和国がいま大きな注目を集めている。隣国の軍事的脅威をかわして非武装を貫く小国に、平和憲法を具体化するプロセスを学ぶ。(本誌四一頁)



憲法について、もっともっと語ろう！

生活と政治との距離を縮め、憲法を身近なものと感じるためには、フラットな対話の場こそ必要だ。仙台で若者を中心に企画された「憲法こねこね」の実践を紹介する。(本誌四八頁)